

令和 7 年度版

〈 光村の国語 〉
完全活用ガイド

3 学年分の
「語彙ブック」
全て収録！

新登場！
思考力・表現力を高める
語彙ブック

生徒の読みが
深まらない。



ぴったりな
言葉が
出てこない。



自分の気持ちが
うまく
伝わらない。



光村図書の**語彙ブック**にお任せください！

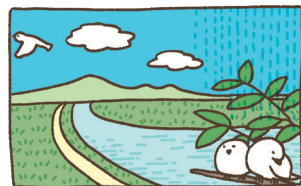
ぴったりの表現を見つけるために

語彙ブック

思っていることをうまく表現できない……。
そんなときには、語彙ブックを開いてみよう。
自分の思いや考えにぴったりの表現を見つけて、
言葉の世界を広げよう。

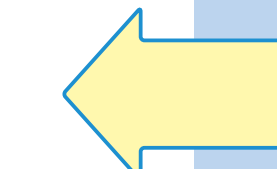
頭の中に浮かんでいる情景に、
ぴったりの言葉が見つからない。

この言葉、
使ってみよう！



系統	1年	2年	3年
描写	情景を表す言葉	感覚で捉えた言葉	心の動きを表す言葉
言動	心情・行為を表す言葉	人物を表す言葉	慣用句・ことわざ・四字熟語・故事成語
思考	思考するときの言葉	抽象的な概念を表す言葉	批評するときの言葉
コラム	辞典を活用して言葉を広げよう	結び付きに着目して言葉を広げよう	言葉と私

言葉の宝箱
(小学校)



光村図書の語彙ブック

3つのポイント

語彙力は、生徒の学びや生活を支える土台となります。子供たちがたくさんの言葉に出会い、自分の思考や感情を的確に言語化する力を獲得できるように。光村図書から、「語彙ブック」の提案です。

光村図書の「国語」は、一貫して「文脈の中で言葉を学ぶ」ことを大切にしてきました。単語の意味を調べて暗記しただけでは、「使える」言葉になりません。「もっとぴったりの言葉があるはず。」と生徒が試行錯誤することに意味があります。このような試行錯誤は、生徒の言語感覚を研ぎ澄まし、生徒自身の思いや考えを語る言葉を育てていきます。



軽井沢風越学園教諭
光村図書編集委員
甲斐利恵子先生

1 「知っている言葉」を「使える言葉」に

語彙力とは、言葉を適切に使いこなす力のこと。それはただ、単語を丸暗記するだけでは身につけません。光村図書の「語彙ブック」は、言葉を用例や使用場面のイラストとともに示すことで、生徒が文脈の中でその意味や使い方を体得できるようにしました。

2 系統的に積み上げる

生徒たちが、自分の求める表現を探し出せるように、「語彙ブック」では、言葉を「描写」「言動」「思考」の3系統に整理して示しました。語句は、各学年の発達段階や教材内容に応じて選定されているため、表現力や思考力が自然と高まる設計になっています。

系統	紹介している語彙
描写	情景や心の動きを表す語彙
言動	人や生活に密着した語彙
思考	物事を考えるときや、批評するとき役立つ語彙
コラム	語彙を広げたり、言葉と向き合ったりするコーナー

3 すぐ開く・いつでも使える

必要なときに、いつでもすぐページを開けるように、**ブックインブック形式**を採用しました。

「語彙ブック」表紙のQRコードからは、小学校で学んだ語句を集めた「言葉の宝箱」や、前学年までに学習した「語彙ブック」の内容を確認できます。



他のページより1cm 短い

すぐに開ける
ブックイン
ブック形式

内容解説資料

描写

情景を表す言葉

物語や詩で、登場人物の心情と響き合うように描かれた風景や場面の様子を情景という。ここでは、情景描写に用いられることの多い、天気に関わるさまざまな言葉や表現を取り上げた。語感を磨き、ぴったりの表現を探すときに役立てよう。

ごうごう

ざあざあ

ばらばら

ぽつぽつ

しとしと

ぼつり

どんより

さんさん

からり

じりじり

かんかん

1年

内容解説資料 完全活用ガイド 語彙ブック

「雨」に関する表現

- ・大雨 ・豪雨 ・暴風雨
- ・どしゃ降り ・あらし
- ・バケツをひっくり返したような雨
- ・ざあざあ
- ・雷雨
- ・夕立 ・スコール
- ・雨脚
- ・本降り ・雨風
- ・にわか雨 ・通り雨
- ・雨宿り ・しぐれる
- ・大つぶの雨
- ・しとしと
- ・蕭々
- ・小雨
- ・雨だれ ・雨音
- ・ばらばら
- ・ぽつぽつ
- ・霧雨
- ・煙るような雨
- ・小ぬか雨 ・小やみ
- ・ぐずついた天気

「曇り」に関する表現

- ・今にも泣きだしそうな空
- ・黒雲 ・暗雲
- ・雨雲が低く垂れ込める
- ・ひと雨来そうな気配
- ・雲行きが怪しい
- ・暗雲がただよう
- ・すっきりしない天気
- ・曇天 ・天気がくずれる
- ・日がかげる
- ・雲がかかる
- ・薄日が差す
- ・晴れ間がのぞく
- ・雨あがり
- ・いい天気
- ・日和
- ・さんさん
- ・晴天 ・晴朗
- ・好天 ・晴れやか
- ・上天気 ・日本晴れ
- ・からりと晴れあがる
- ・雲一つない
- ・晴れ渡る ・快晴
- ・抜けるような青空
- ・高く澄んだ空
- ・日差しが強い
- ・かんかん照り
- ・炎天

「晴れ」に関する表現

- ・晴天 ・晴朗
- ・好天 ・晴れやか
- ・上天気 ・日本晴れ
- ・からりと晴れあがる
- ・雲一つない
- ・晴れ渡る ・快晴
- ・抜けるような青空
- ・高く澄んだ空
- ・日差しが強い
- ・かんかん照り
- ・炎天

● 天気の描写の例

雨は蕭々と降っている
馬は草をたべている
尻尾も背中も鬣も ぐっしりと濡れそぼって
彼らは草をたべている

三好達治「大阿蘇」より

雨があがると、ごんは、ほっとしてあなからはい出ました。空はからりと晴れていて、もずの声がキンキンひびいていました。

新美南吉「ごんぎつね」より

どつどつ どどうど どどうど どどう
青いくるみも吹きとばせ
すっぱいかりんも吹きとばせ
どつどつ どどうど どどうど どどう

(中略) さわやかな九月一日の朝でした。青ざらで風がどうと鳴り、日光は運動場いっぱいでした。

宮沢賢治「風の又三郎」より

● 空などの様子を表す言葉

- ・うららかな五月の空。
- ・のどかな春の海。
- ・春の柔らかな日差し。
- ・おだやかな秋の一日。
- ・秋の高く澄んだ空。

● 温度に関する表現

- ・春先のはだ寒い日。
- ・寒々とした風景。
- ・生ぬるい風。
- ・気候の温暖な土地。
- ・灼熱の太陽。

● 程度を表す言葉

- ・まばらに降る雨。
- ・雨風が激しくなる。
- ・すさまじい風。
- ・過酷な暑さ。
- ・猛烈な台風。

● 擬音語・擬態語(オノマトペ)

- ・雨がざあざあど降りしきる。
- ・雨つぶがぼつりと落ちる。
- ・雪がしんしんと降り積もる。
- ・朝日がさんさんと輝く。
- ・春風がそよそよと吹く。

情景描写 風景に思いをたくす

物語や随筆、日記などを書くとき、情景描写を工夫すること
で、そのときの思いや考えをより鮮やかに描くことができる。

例「空には暗雲が垂れ込め、雨がぼつりと落ちてきた。」
↓これから何か悪いことが起こりそうな、不安な気持ち。

例「雨が上がり、抜けるような青空が広がった。」
↓不安なことがなくなり、前向きで明るい気持ち。

ただ気持ちを書くよりも、
イメージが豊かに広がるね。

言動

心情・行為を表す言葉

心情や行為を表現するとき、どんな言葉がぴったりくるだろうか。自分に合った言葉や表現を考える参考にしよう。

心情を表す言葉

うれしい

- ・喜ぶ 「合格を」
- ・歓喜 「勝利に」
- ・はしゃぐ 「お祭りで」
- ・有頂天 「ほめられて」
- ・声が弾む 「吉報に」
- ・心が弾む 「旅行が近づき」
- ・会心の笑み 「を浮かべる」
- ・うきうき 「と買い物に行く」

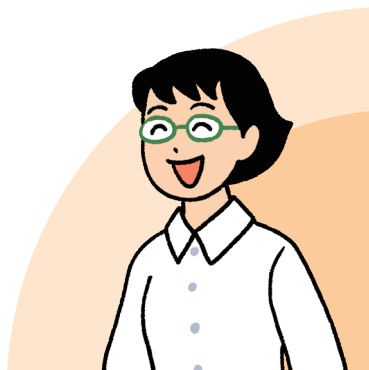


悲しい

- ・悲しむ 「別れを」
- ・あわれ 「な結末」
- ・悲痛 「な経験」
- ・胸がつかえる 「悲劇に」
- ・胸がふさがる 「心配事に」
- ・うなだれる 「力を発揮できず」
- ・断腸の思い 「で諦める」
- ・しんみり 「別れぎわとする」

楽しい

- ・興じる 「趣味に」
- ・たんのうする 「落語を」
- ・満喫 「豪華料理を」
- ・愉快 「友達と話を」
- ・享受 「芸術作品を」
- ・充足 「した生活」
- ・爽快 「思い切り運動して」
- ・胸が躍る 「新しい出会いに」
- ・わくわく 「しながら出番を待つ」



怒る

- ・いきどおる 「心ない言葉に」
- ・激怒 「納得がいかず」
- ・憤慨 「身勝手な行動に」
- ・むしゃくしゃ 「する出来事」
- ・腹立たしい 「自分の失敗が」
- ・頭にくる 「ばかにされて」
- ・はらわたがにえくり返る 「彼の態度に」
- ・ぶんぶん 「怒って」

行為を表す言葉

話す

- ・語る 「夢を」
- ・会話 「英語で」
- ・懇談 「会」
- ・語らう 「友達と共に」
- ・語りかける 「そっと」
- ・言葉をかわす 「初めて」
- ・口をきく 「生意気な」

書く

- ・記す 「住所を」
- ・執筆 「エッセイを」
- ・つづる 「文章を」
- ・したためる 「手紙を」
- ・書き留める 「伝言を」
- ・筆をとる 「返信の」
- ・記録 「議事を」

表す

- ・表現 「言葉で」
- ・表出 「感情を」
- ・表明 「自分の考えを」
- ・表示 「原材料を」
- ・打ち出す 「新しい方針を」
- ・示す 「問題点を」

暮らす

- ・生活 「おだやかな」
- ・過ごす 「あわただしく」
- ・自活 「実家を離れて」
- ・起居 「を共にする」
- ・生計を立てる 「手段」
- ・営む 「暮らしを」
- ・世を渡る 「芸で」

聞く(聴く・きく)

- ・問う 「真偽を」
- ・尋ねる 「道を」
- ・質問 「不明な点を」
- ・問いただす 「事実関係を」
- ・聞き入る 「祖母の話に」
- ・傾聴 「する態度を養う」
- ・耳を貸す 「忠告に」

読む

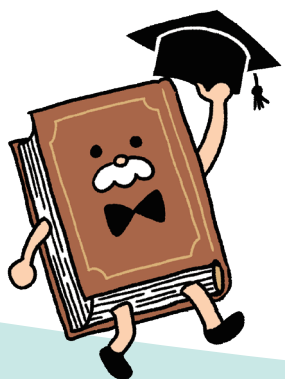
- ・朗読 「絵本を」
- ・通読 「資料を」
- ・判読 「古い書物を」
- ・閲覧 「図書を」
- ・ひもとく 「古典を」
- ・字面を追う 「必死に」
- ・目を通す 「書類に」

競う

- ・争う 「優勝を」
- ・競争 「心を保つ」
- ・競合 「するチーム」
- ・せる 「僅差で一位を」
- ・張り合う 「意地を」
- ・向こうを張る 「ライバルの」
- ・しのぎを削る 「互いに」

訪ねる

- ・訪れる 「友人の家を」
- ・訪問 「会社」
- ・来訪 「者」
- ・往訪 「はるばる」
- ・足を運ぶ 「何度も」
- ・門をくぐる 「母校の」
- ・おもむく 「現地に」



思考

思考するときの言葉

思考を整理したり、交流などを通して広げたり深めたりするとき、どんな言葉を使うとよいだろう。目的や場面に応じて使ってみよう。

問いを立てる
広げる

どうすれば、○○
できるだろう。

○○にはどんな意
味があるのかな。

- 問いを立てる
- なぜ○○か
- は□□か
- とは何か
- はどういうことか
- どのような
- 何のために
- どうすれば
- 疑問点は

発想を広げる

加えて／他にも

○○に関連して

それならば

発想を変える

見方／視点を変えれば

別の考え方をすれば

考えを引き出す

○○なのはなぜか

具体的にどういうことか

例えばどういうことか

○○について詳しく教え
てほしい

分析する
深める



○○と□□を関連
づけて考えると……

- 分析する
- に着目すると
- という方法で
- 全体の傾向として
- をどう考えるか
- の関係を整理すると
- その背景には何があるか
- 両者はどう関連するか
- にとってどんな効果／
価値があるか

比較・分類する

○○と比べると

共通点／相違点は

メリット／デメリットは

前者に対して後者は

○○の観点で分けると

組み合わせる

○○と□□を合わせると

○○とつなげて考えると

順序立てる

まず、／次に、

第一に、／第二に、

時系列で整理すると

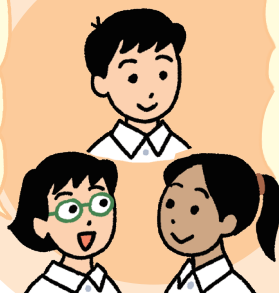
この流れから考えると

仮説を立てる

仮に○○とすると

○○から□□といえるの
ではないか

伝え合う
表現する



○○について、別の視
点から意見がありますか。

○○さんの意見に賛成です。
ただ、□□の点では……

伝え合う

- 伝え合う
- 話し合いの目的／ゴールは
- 私の意見／立場は
- ここである「○○」とは、
□□ということか
- つまり○○ということか
- さらに○○してはどうか
- の点では同じ考えだが、
□□の点では
- 反対の立場から見ると

話題を整理する

ここまで、○○と□□の
観点から意見が出たが

今の話題は○○なので、
○○についての意見を

根拠を挙げる

その根拠として

そのように考えたのは

○○に基づいて

「○○」によると

原因・結果を示す

なぜなら

○○によって

○○が原因で

この結果から考えられる
原因は

○○の結果

○○が□□をもたらす

○○は□□だからだ

振り返る

- 振り返る
- を通して□□を学んだ
- を□□に生かしたい
- という視点に気づいた
- できるようなったことは
- 工夫／試行錯誤した点は
- 改善点は
- さんの意見を受けて
- 最初は○○だったが、□□
をきっかけに
- 新たに○○という課題が

話をまとめる

このように

したがって

以上のことから

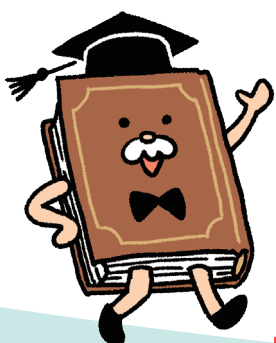
総合すると

ここまできまとめると

今日決まったことは

課題として残ったのは

○○は結論が出なかった
が、□□については



2 年

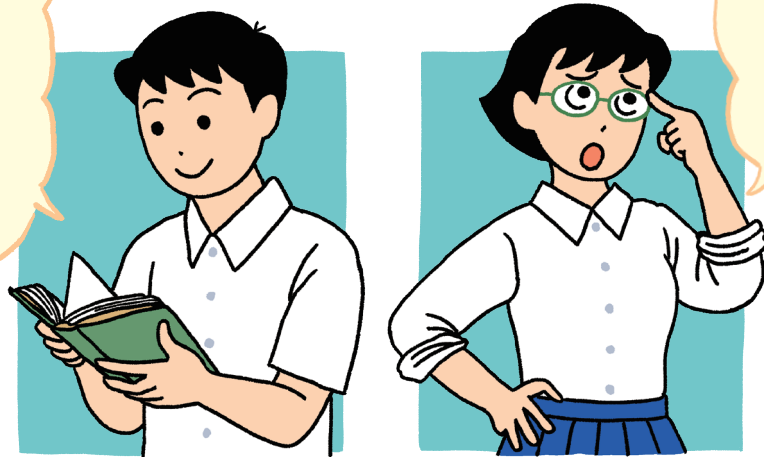
ぴったりの表現を見つけるために

語彙ブック

思っていることをうまく表現できない……。そんなときには、語彙ブックを開いてみよう。自分の思いや考えにぴったりの表現を見つけて、言葉の世界を広げよう。

言葉を探すうちに、伝えたいことがはっきりしてきた！

この感覚をわかりやすく伝えたい。
どう説明したらよいのだろう。



系統	1 年	2 年	3 年
描写	情景を表す言葉	感覚で捉えた言葉	心の動きを表す言葉
言動	心情・ こうい 行為を表す言葉	人物を表す言葉	慣用句・ことわざ・四字熟語・故事成語
思考	思考するときの言葉	ちゆうしょう 抽象的な概念を がいねん 表す言葉	批評するときの言葉
コラム	辞典を活用して言葉を広げよう	結び付きに着目して言葉を広げよう	言葉と私

言葉の宝箱（小学校
語彙ブック1年）

コラム

辞典を活用して言葉を広げよう

さまざまな辞典を使いこなすことによって、言葉を広げることができる。「驚く」に関連する言葉について調べてみよう。

国語辞典

言葉の意味や用例を説明した辞典。

➡ 19 ページ 言葉を調べる

おどろく【驚く】

思いがけない出来事
で、心が騒ぐ。びく
りする。

驚く

意表をつかれる

きも
肝を冷やす

ことわざ・慣用句辞典

ことわざや慣用句を集め、意味や使い方について説明した辞典。

舌を巻く

目を丸くする

古語辞典

古い時代に使われていた日本語を集めた辞典。

あさましがる

耳驚く

驚く

他にも、心情を表す言葉や比喩^{ひゆ}表現、外来語を集めたものなど、さまざまな辞典があるよ。お気に入りの辞典を探してみよう。



編集部メモ 辞典で語彙を広げる方法を紹介しました。言葉の言い換えは、語彙力を高めるうえで有効な方法です。

描写

感覚で捉えた言葉

場面や状況などを伝えるとき、感覚で捉えた様子を表してみよう。
表現の幅が広がり、生き生きと伝えることができる。



朝

- ・朝日がさんさんと降り注ぐ。**視**
- ・青い空が広がる。**視**
- ・鳥のさえずりが、静寂を破る。**聴**
- ・香ばしいコーヒーの匂いを嗅ぐ。**嗅**
- ・甘いパンを食べる。**味**
- ・ひんやりとした朝。**触**



昼

- ・鮮やかな黄色が特徴的な看板。**視**
- ・ぴりりと辛いパスタのソース。**味**
- ・かぐわしい花の香り。**嗅**
- ・ぼかぼかした陽気。**触**
- ・猫の毛並みは、つやつやだ。**視** **触**



夕方

- ・らせん状の赤い滑り台で遊ぶ。**視**
- ・公園の木々がざわざわと揺れる。**視** **聴**
- ・帰宅する人々で、駅前にはぎやかだ。**視** **聴**
- ・食欲を刺激するいい匂いが漂う。**嗅**
- ・ランニングで、体がほてる。**触**



夜

- ・辺りが薄暗くなる。**視**
- ・星がきらきらと輝き始める。**視**
- ・閑静な住宅地。**聴**
- ・まるやかな味のビーフシチュー。**味**
- ・シャンプーの優しい匂いに包まれる。**嗅**
- ・ふかふかの布団で眠る。**触**

視覚

● 明暗・光と影

- ・きらめく
- ・薄明かり
- ・かげる
- ・暗闇
- ・漆黒
- ・照る
- ・ぴかぴか
- ・ほの暗い
- ・陰影
- ・燦然
- ・きらきら
- ・おぼろげ

● 色彩

- ・さえる
- ・色あせる
- ・鮮明
- ・くすむ
- ・カラフル
- ・モノトーン

● 形状

- ・角ばる
- ・平ら
- ・一直線
- ・湾曲
- ・楕円
- ・凹凸
- ・放射状
- ・べらべら
- ・鋭い

聴覚

● 音の調子

- ・やかましい
- ・わいわい
- ・ひそやか
- ・ひっそり
- ・騒がしい
- ・わあわあ
- ・静粛
- ・しんと
- ・騒々しい
- ・がやがや
- ・しじま
- ・しめやか

● 音の調子

- ・澄む
- ・にこる
- ・とどろく
- ・甲高い
- ・こもる
- ・きんきん
- ・伸びやか
- ・くぐもる
- ・どんだん

嗅覚

- ・かんばしい
- ・香気
- ・ふんと
- ・芳香
- ・くさい
- ・つんと
- ・香り立つ
- ・臭気

味覚

- ・美味
- ・珍味
- ・辛み
- ・苦い
- ・とろける
- ・滋味
- ・甘美
- ・塩辛い
- ・渋い
- ・すっきり
- ・うまい
- ・まずい
- ・しょっぱい
- ・すっぱい

触覚

- ・ふわふわ
- ・ざらざら
- ・ぬくぬく
- ・熱い
- ・ぬくぬく
- ・しっとり
- ・ごつごつ
- ・温かい
- ・肌寒い
- ・べたべた
- ・つるつる
- ・ぬるい
- ・冷たい

言動

人物を表す言葉

人の性質や様子、態度などを表す言葉はさまざまにある。どの表現がぴったりくるかを考えて、使ってみよう。

似たような言葉でも……

似たような意味をもつ言葉でも、与える印象が異なる場合がある。

- ・熱心
- ・いちず
- ・真摯

●課題に対して、真剣に取り組む。



真面目

●生真面目なので、冗談が通じない。



- ・頭が固い
- ・四角四面
- ・融通がきかない

- ・根気強い
- ・ひたむき
- ・意志を貫く

●細かなところまで粘り強く取り組む。



こだわる

●失敗に、いつまでも固執する。



- ・とらわれる
- ・執着する
- ・凝り固まる

- ・理知的
- ・頭脳明晰
- ・利発

●彼は、理解が早く、聡明な人だ。



賢い

●彼は、利己的で抜け目がない。



- ・ずる賢い
- ・こざかしい
- ・計算高い

- ・素直
- ・純粹
- ・天真爛漫

●あどけない笑顔に癒やされる。



無邪気

●あさはかな振る舞いで周囲を困らせる。



- ・思慮に欠ける
- ・単純
- ・短絡的

人物を表す言葉

●明るい

- ・朗らか
- ・明朗快活
- ・陽気
- ・気さく
- ・人なつっこい
- ・滑稽
- ・ひょうきん
- ・コミカル
- ・ユーモラス

●おおらか

- ・寛大
- ・寛容
- ・度量が大きい
- ・包容力のある
- ・心の広い
- ・おっとり
- ・悠然
- ・おだやか
- ・気長

●丁寧・謙虚

- ・丁寧
- ・うやうやしい
- ・折り目正しい
- ・つつましい
- ・腰が低い
- ・控えめ
- ・奥ゆかしい
- ・遠慮深い
- ・頭が低い

●強い

- ・気が強い
- ・きつい
- ・したたか
- ・負けず嫌い
- ・勝ち気
- ・気丈
- ・たくましい
- ・屈強
- ・剛健

●優しい

- ・思いやりのある
- ・情に厚い
- ・情の深い
- ・気遣いのある
- ・こまやか
- ・気がきく
- ・慈愛に満ちた
- ・温かい
- ・温和

●短気

- ・せっかち
- ・短慮
- ・気が短い
- ・性急
- ・気ぜわしい
- ・怒りっぽい
- ・せわしない
- ・慌ただしい
- ・せかせか

●素直

- ・温順
- ・善良
- ・純真無垢
- ・飾り気のない
- ・純粋
- ・純真
- ・素朴
- ・従順
- ・率直

●正直

- ・まっすぐ
- ・誠実
- ・実直
- ・真率
- ・堅実
- ・手堅い
- ・律儀
- ・ざっくばらん
- ・公明正大

教科書の人物描写の例

星の花が降るころに

・繊細さのかけらもない戸部君だから、……

少年の日の思い出

・彼は冷淡に構え、……

アイスプラネット

・ぐうちゃんは「ぐうたら」している。

字のない葉書

・死んだ父は筆まめな人であった。

・威厳と愛情にあふれた非の打ちどころのない父親……

走れメロス

・のんきなメロスも、……
・メロスは単純な男であった。

他にも人物を表す表現を探してみよう。

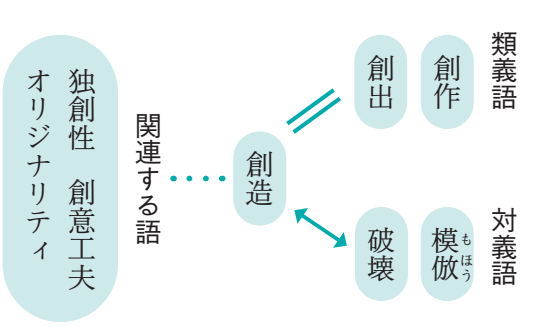


思考

抽象的な概念を表す言葉

言葉を広げる

「創造」に関連する言葉



類義語や対義語、関連する語を挙げていくと、言葉が広がるね。



2年

学習や日常に生かす

国語

意図を明確に伝えるために、主観的な書き方を、もう少し客観的にしよう。

- ・趣旨・目的
- ・絶対・相対
- ・偶然・必然
- ・普遍・特殊
- ・帰納・演繹



この作品が、なんとなく好きだと思った。

どう表現したら……？



この作品を形作っている世界観に心引かれた。

- ・価値観
- ・無常観
- ・先入観
- ・観点・着眼点・立場

社会

〇〇の改革・従来の仕組みが変容。→……に発展。

- ・背景・現状
- ・制度・シス
- ・権利・義務
- ・需要・供給

理科

仮説を立てて検証した結果、〇〇の成り立ちと性質は……

- ・状態・変化
- ・現象・気象
- ・分解・還元
- ・反応・循環
- ・エネルギー



数学

三角形の合同条件を使って証明する。〇〇が等しいから……

- ・仮定・確率
- ・定義・定理
- ・関数・代入
- ・比例・反比

美術

バランスのよい構図で、色彩のコントラストもきいている。

- ・表現・鑑賞
- ・発想・構想
- ・モチーフ
- ・調和・対比
- ・明度・彩度



英語

自分の国の文化について、英語で伝え合うことができる。

- ・グループ
- ・ワーク
- ・ペアワーク
- ・インタビュー
- ・アナウンス
- ・メッセージ

音楽

楽器の音色や旋律の特徴、リズムに気をつけて聴いてみよう。

- ・曲想・曲調
- ・フレーズ
- ・主題・テーマ
- ・拍・拍子
- ・テンポ



技術家庭

栄養素の組織…調子…分解・吸収

- ・加工・技術
- ・テクノロジ
- ・変換・資源
- ・衛生・摂取
- ・生産・消費

保健体育

攻撃と守備に分かれ……実践を通して持久力の向上を図ろう。

- ・健康・疾病
- ・要因・依存
- ・予防・対処
- ・症状・維持
- ・精神・肉体

日常

持続可能な社会を目指し、再生可能エネルギーを推進……

- ・国際
- ・協調
- ・多文化共生
- ・防災・減災
- ・伝統文化



抽象的な概念を表す言葉は、思考を広げたり深めたりするための道具となる。意味を正しく理解し、適切に使えるようになるう。

- 気持ち 類 気分 関 精神・気・意識・心地・心持ち・情感・スピリット
- 意志 類 意図 関 志向・志・心積もり・気構え・胸の内
- 活気 類 生氣 関 活力・活発・はつらつ・精気・生氣にあふれる・自由闊達・伸び伸び
- 自信 類 自慢・自負・慢心・うぬぼれ・自尊心・プライド
- 危険 類 緊急・危機・緊迫・危険・火急・間一髪・絶体絶命 対 安全
- 具合 類 調子 関 あんばい・かげん・都合・コンディション・兼ね合い・仕上がり
- 事実 類 真実・現実 関 本当・まこと・真理・正真正銘・ありのまま 対 虚構
- 知識 類 知恵・知力・英知・良識・機知・知見・教養・文殊の知恵
- 基本 類 基礎・基盤 関 根底・根本・根幹・土台・いしずえ・基底・ベース
- 普通 類 一般・通常・あたりまえ 関 凡庸・月並み・お決まり・ありきたり・日常茶飯 対 特別・特殊
- 類似 類 近似・相似 関 共通・似たり寄ったり・大同小異・五十歩百歩 対 相違
- 事情 類 情況・情勢・動向・いきさつ・風向き
- 論理 類 理屈 関 筋道・論法・道理・つじつま・ロジック・理路整然
- 伝達 類 伝言・通達・疎通・言づて・告知・コミュニケーション
- 判断 類 判定・決断 関 評価・審判・批判・予断・断定・見立て・ジャッジ
- 議論 類 論議・討論・討議 関 論争・論戦・弁論・反論・ディスカッション
- 検討 類 吟味・検査・分析・鑑定・点検・思索・考慮・考察・チェック

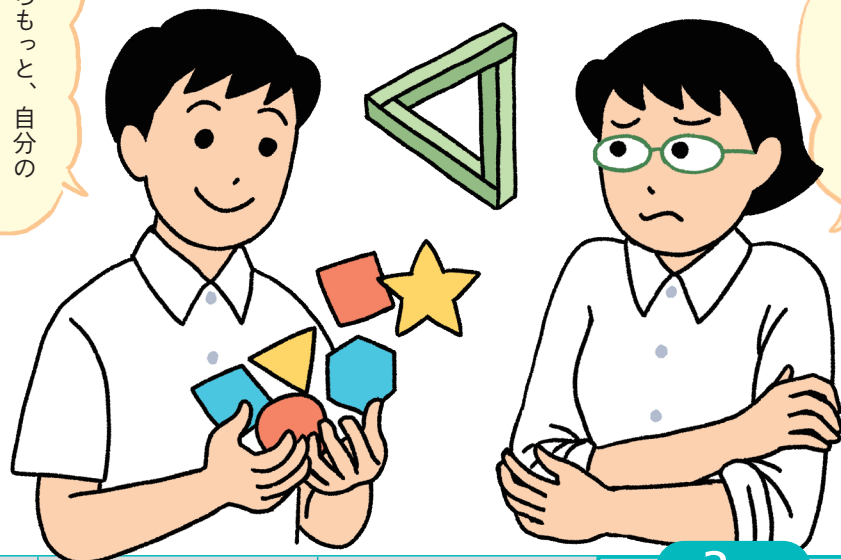
3年

ぴったりの表現を見つけるために

語彙ブック

思っていることをうまく表現できない……。そんなときには、語彙ブックを開いてみよう。自分の思いや考えにぴったりの表現を見つけて、言葉の世界を広げよう。

これからもっと、自分の言葉を磨いていきたい！



複雑な心の動きを捉えたい。自分の解釈を的確に伝えたい。そんなとき、どんな言葉を用いればよいだろう。

系統	1年	2年	3年
描写	情景を表す言葉	感覚で捉えた言葉	心の動きを表す言葉
言動	心情・行為を表す言葉	人物を表す言葉	慣用句・ことわざ・四字熟語・故事成語
思考	思考するときの言葉	抽象的な概念を表す言葉	批評するときの言葉
コラム	辞典を活用して言葉を広げよう	結び付きに着目して言葉を広げよう	言葉と私

言葉の宝箱（小学校）
語彙ブック1・2年



コラム

結び付きに着目して言葉を広げよう

修飾語が変わると

形容動詞を使うと

- ・ 豪快に
- ・ 軽やかに
- ・ 和やかに
- ・ にこやかに
- ・ 照れくさそうに
- ・ 寂しげに
- ・ 冷ややかに

形容詞を使うと

- ・ 明るく
- ・ くったくなく
- ・ あどけなく
- ・ いたずらっぽく
- ・ ぎこちなく

複合語にすると

- ・ 笑いかける
- ・ 笑い合う
- ・ 笑い転げる
- ・ 笑い飛ばす
- ・ 笑い崩れる

擬音語・擬態語を使うと

- ・ にんまりと
- ・ にこにこ
- ・ げらげらと
- ・ くすくすと
- ・ ふふふと

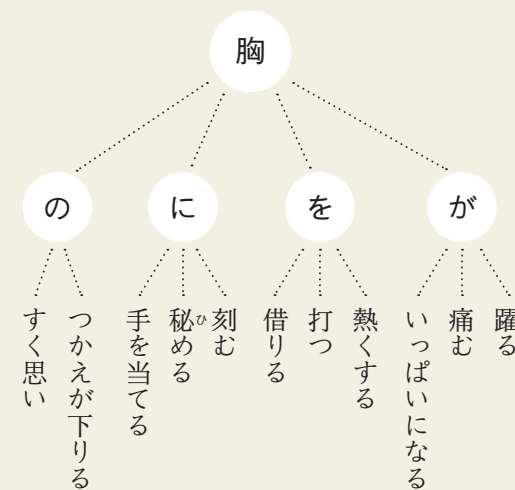
比喩・慣用表現を使うと

- ・ お日さまのように
- ・ 涙が出るほど
- ・ 鼻で
- ・ 腹を抱えて
- ・ 肩を震わせて

笑う



助詞が変わると



辞典などを使い、「走る」や「頭」に結びつく言葉を調べてみよう。

「さっそうと走る」
「頭にくる」……



同じ言葉でも、それに結びつく言葉が変わると、意味やニュアンスが変化する。結び付きに着目して、言葉を広げていこう。

心の動きを表す言葉

中学校生活の中で、心が揺れ動く瞬間がたくさんあったことだろう。ここでは、心情に関わるさまざまな語句・表現や、これまでに学んだ作品や文章の描写を読み味わい、語彙を豊かにしよう。

喜ぶ・楽しむ・笑う

- ・天にも昇る心地・浮き立つ
- ・胸を弾ませる・心が躍る
- ・満足・ご満悦・愉快・樂觀
- ・熱狂・興奮・狂喜乱舞・歓喜
- ・わくわく・口元がほころぶ
- ・ほほ笑む・大笑い・破顔

いちよう並木と時計。昨日、自分が立った場所を、レンは、絵の中に見た。思い切った色彩で描かれた風景に、心は躍った。
蜂飼耳「はじまりの風」(二年)より

感じる・考える

- ・感動・感じ入る・没頭・専念
- ・傾倒・胸を打つ・じいん
- ・琴線に触れる・感情移入
- ・印象に残る・印象的
- ・胸がいっぱいになる
- ・葛藤・省みる・内省・熟考
- ・つらつら・思い巡らす
- ・沈黙考・思索にふける

そのときの顔を、僕は今でも忘れません。強い顔でした。でも悲しい悲しい顔でした。僕はあんなに美しい顔を見たことはありません。僕たち子供を必死で守ってくれる母の顔は、美しいです。僕はあのときのことを思うと、いつも胸がいっぱいになります。
米倉齊加年「大人になれなかった弟たちに……」(二年)より

ためらう・迷う

- ・緊張・気恥ずかしい
- ・圧倒される・うろたえる
- ・狼狽・動揺する・後悔

もしかしたら、日頃気恥ずかしくて演じられない父親を、手紙の中でやってみたのかもしれない。
向田邦子「字のない葉書」(二年)より

怒る・悲しむ・嘆く

- ・悔やむ・ひるむ・おずおず
- ・気がかり・ぎこちない
- ・遠慮・不安・心配・とまどう
- ・心細い・悲観

そのとたん、私は自分の心臓がどこにあるのかがはつきりわかった。どきどき鳴る胸をなだめるように一つ息を吸って、と、ぎこちなく足をふみ出した。
安東みきえ「星の花が降るころに」(二年)より

望む・求める

- ・願う・祈る・志す・夢・期待
- ・心待ち・悲願・願望・希望
- ・一縷の望み・憧れ・垂涎の的
- ・喉から手が出る・切望
- ・焦がれる・探求・探究

私自身、このような状況を前にして、言葉の無力さに打ちひしがれることがある。確信をもって言葉を発せないこともある。だが、戦争の足音が遠くから響いてくる今、言葉の無力を前に、ただうなだればかりでお願い。
鷲田清一「それでも、言葉を」(三年)より

思うに希望とは、もともとあるものともいえぬし、ないものともいえない。それは地上の道のようなものである。もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。
魯迅／竹内好訳「故郷」(三年)より

言動

慣用句・ことわざ・
四字熟語・故事成語

伝えたいことを話したり、文章を書いたりするときに、ぴったりの言葉や表現があれば、使ってみよう。

- ・精を出して練習する。
- ・骨身を惜しまないで努力する。
- ・技術は、日進月歩だ。
- ・テニスの腕が上がる。

精を出す

骨身を惜しまない

日進月歩

腕が上がる



胸をなで下ろす

羽を伸ばす



心機一転

- ・テストが無事に終わり、胸をなで下ろす。
- ・思う存分、羽を伸ばす。
- ・休息を十分に取って、心機一転、勉強に励む。

・飼猫の世話に、手を焼く。

・言うことを聞かないので、頭を抱える。

・体を洗うのにも、四苦八苦だ。

手を焼く

頭を抱える



四苦八苦

どぎもを抜く

前代未聞

順風満帆

- ・斬新なアイデアで、皆のどぎもを抜いた。
- ・前代未聞の計画。
- ・計画は順風満帆だ。



慣用句

体や心に関する言葉を含む

- ・頭をひねる
- ・目から鼻へ抜ける
- ・目に余る
- ・鼻にかける
- ・歯にきぬを着せない
- ・肩の荷が下りる
- ・胸が痛む
- ・手に余る
- ・手を尽くす
- ・へそを曲げる
- ・ほぞをかむ
- ・揚げ足を取る
- ・眉をひそめる
- ・目が高い
- ・小耳に挟む
- ・口が重い
- ・口が堅い
- ・肩を持つ
- ・胸がすく
- ・手を引く
- ・腹を割る
- ・腰を据える
- ・足がすくむ
- ・浮き足立つ

生き物に関する言葉を含む

- ・虎の子
- ・馬が合う
- ・とどのつまり
- ・鶴の一声
- ・猫をかぶる
- ・虫がいい
- ・うり二つ
- ・根も葉もない

生活・文化・歴史に関する言葉を含む

- ・一目置く
- ・板につく
- ・たかをくくる
- ・しのぎを削る
- ・油を売る
- ・お茶を濁す
- ・さじを投げる
- ・太鼓判を押す

ことわざ

生き物に関する言葉を含む

- ・泣きつ面に蜂
- ・亀の甲より年の功
- ・たて食う虫も好き好き
- ・捕らぬたぬきの皮算用
- ・いたちごっこ
- ・猫に小判
- ・二兎を追う者は一兎をも得ず

生活や文化に関する言葉を含む

- ・医者の不養生
- ・灯台下暗し
- ・豆腐にかすがい
- ・渡る世間に鬼はない
- ・鉄は熱いうちに打て
- ・朱に交われば赤くなる
- ・袖振り合うも多生の縁

天候や自然に関する言葉を含む

- ・石の上にも三年
- ・寄らば大樹の陰
- ・雨降って地固まる
- ・待てば海路の日和あり
- ・枯れ木も山のにぎわい

四字熟語

同じ字を含む

- ・正真正銘
- ・以心伝心
- ・自業自得
- ・絶体絶命
- ・半信半疑
- ・自画自賛
- ・適材適所
- ・徹頭徹尾

数字を含む

- ・一網打尽
- ・一挙兩得
- ・危機一髪
- ・七転八倒
- ・十人十色
- ・千差万別
- ・千変万化
- ・千載一遇

漢字を誤りやすい

- ・異口同音
- ・旧態依然
- ・厚顔無恥
- ・針小棒大
- ・単刀直入
- ・付和雷同
- ・意味深長
- ・勸善懲惡
- ・縦横無尽
- ・興味津々
- ・因果応報
- ・巧言令色

故事成語

- ・五里霧中
- ・朝令暮改
- ・大器晚成
- ・朝三暮四
- ・鶏口牛後
- ・暗中摸索
- ・井の中の蛙大海を知らず

世界のことわざ

日本に多くのことわざがあるように、世界にも魅力的なことわざがさまざまある。

逃げるは恥だが役に立つ
(ハンガリー)

問題から逃げるのは恥ずかしいが、よい結果につながることもある。

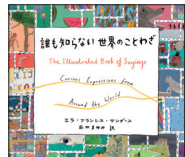
きゅうりとドリアン
(マレーシア)

昼と夜 (フランス)

月とすっぽん (日本)
二つのものの違いが大きいこと。

広がる読書

「誰も知らない世界のことわざ」
エラ・フランシス・サンダース



前田まゆみ訳
「ロバにスポンジケーキ」？
世界中のユニークなことわざに触れてみよう。

思考

批評するときの言葉

物事を評価したり、ものの見方や情報を伝えたりするときに、ふさわしい言葉や表現を考える参考にしよう。

評価・判断を表す言葉

例えば作品を批評するとき、どう表現したらよいだろう。



この作品の価値／魅力は〇〇にある。例えば……

登場人物の〇〇の考え方に共感した。自分も……

読み手に〇〇という効果を与えている。

〇〇だからこそ普通性があるのではないか。

意見について

- ・共感できる
- ・納得できる
- ・積極的だ
- ・前向きだ
- ・オリジナリティーがある
- ・独創性がある
- ・有益だ
- ・本質をついている

論理性について

- ・説得力がある
- ・論理的だ
- ・根拠が明確だ
- ・筋が通っている
- ・理にかなっている
- ・多面的に論じている
- ・合理的だ

表現について

- ・効果的だ
- ・印象的だ
- ・適切だ
- ・巧みだ
- ・心に響く
- ・比喩的だ
- ・稚拙だ
- ・ありふれている
- ・陳腐だ
- ・漠然としている
- ・ぎこちない
- ・無味乾燥だ

〇〇の根拠をもつ少し丁寧に論じると、論旨が明快になると思う。



前者は的を射てインパクトのある表現だ。いつぼう後者は、やや抽象的で……



ものの見方を表す言葉

この町は、環境保全に積極的だ。



太陽光発電や植林に取り組み、ごみを減らす努力もしている。

具体化する

- ・例えば
- ・具体的には

抽象化する

- ・つまり
- ・まとめると
- ・このように

緻密に考える

- ・正確には
- ・隅々まで見ると
- ・論理的には
- ・厳密には

本質に迫る

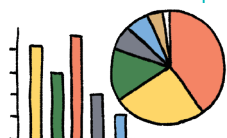
- ・そもそも
- ・本を正せば
- ・その背景／根底には

視点を変える

- ・言い換えると
- ・見方を変えると
- ・〇〇の視点に立つと

情報を読み取って伝える言葉

全校生徒の五十八パーセントが市立図書館を利用している。



市立図書館を利用している生徒は、全体の六割近くに上る。
少ない……
市立図書館を利用している生徒は、全体の六割に満たない。

情報を読み取る

- ・全体の傾向として
- ・最も大きな変化は
- ・〇〇を境に

情報を組み合わせる

- ・〇〇は□□に比べて
- ・〇〇に□□を加味すると
- ・〇〇と□□を満たすには

情報の条件を示す

- ・〇〇年の調査によると
- ・〇〇が対象の調査から
- ・〇〇が発表した情報では
- ・広義（狭義）には

グラフや表の数字を基に伝える

- ・〇〇に満たない
- ・〇〇に上る
- ・〇〇に達する

本などの記述を基に伝える

- ・〇〇と記されている
- ・〇〇は□□と述べている
- ・〇〇の考えでは□□だ

写真や絵を基に伝える

- ・〇〇が写っている
- ・〇〇が描かれている
- ・〇〇が□□を表している
- ・〇〇から□□が伝わる

「語彙ブック」使い方ガイド

授業の中で

例えば

- 詩や短歌、俳句、物語などの創作
- 意見文や批評文を書くとき
- スピーチの原稿を考えると

ぴったりの言葉を探す手がかりや、表現を広げるヒントが見つかります。

朝の情景を描写したい。
どう表現すれば、読む人にイメージを伝えられるかな。



書く
描写を工夫して書く

自分の体験を基に、「心が動いた瞬間」を物語にしみようと、これまでに読んだ物語や小説の表現を参考にしながら、場面の様子や人物の心情が生き生きと伝わるように、描写を工夫して書く。

2年 P224
「描写を工夫して書く」



朝

朝日がさんさんと降り注ぐ。(視)
青い空が広がる。(視)
鳥のさえずりが、静寂を破る。(聴)
香ばしいコーヒーの匂いを嗅ぐ。(嗅)
甘いパンを食べる。(味)
ひんやりとした朝。(触)

他教科や日常生活で

例えば

- 学習を振り返るとき
- 理科の授業で実験レポートを書くとき
- 職場体験のお礼状を書くとき

日常的に語彙ブックを参照することで、文脈に即して適切な言葉を選ぶ力が身につきます。

学習を振り返るときに効果的な言葉には、どんなものがあるだろう。



コラムを活用しよう

最終ページの「コラム」では、言葉を広げるためのアイデアや、各界で活躍する人々が寄稿した「言葉と私」を紹介しています。

池江璃花子 (アスリート) ニ○○○

東京都出身

たった一つの言葉が誰かの支えになることがあります。私はつくくなったとき、主治医の先生に言われた「今はトンネルの途中で必ず出口があるので、がんばりましょう。」という言葉思い出します。



笑う

形容詞を使うと
・明るく
・くつなく
・あどけなく
・いたずらっぽく
・ぎこちなく

内容解説資料

発行者 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675
東京都品川区上大崎 2-19-9
電話 03-3493-2111 (代表)
印刷 協和オフセット印刷株式会社
デザイン 株式会社 dig
イラスト みずす

▶ 光村図書ウェブサイト

光村図書



子どもたちの未来のために、光村図書は、教科書の作成にあたって、「環境」「健康」「子どもの特性」に配慮しています。

- 原料や製法など、環境に配慮した紙を使用しました。
- 環境と健康にやさしい、エコマーク認定の植物油インキで印刷しました。
- 生徒の負担を軽減するため、堅牢で薄い紙を開発し、使用しています。
- カラーユニバーサルデザインに関して、細心の注意を払いました。
- 生徒の学習負担を軽減するように配慮された書体を使用しました。
- 特別支援教育の視点から、専門家の入念な校閲を受けました。

QR コードは (株) デンソーウェブの登録商標です。



光村図書